

令和 7 年度事業報告

I 取組方針

令和 7 年度は、「大阪・関西万博」、「瀬戸内国際芸術祭 2025」が同時期に開催され、この好機を最大限に活かすとともに、今後も見据え国内外からの観光客のさらなる誘致に向けて全力で取り組んだ。

特に海外からの観光客の誘致については、国際航空路線の増便等により、高松空港の利便性が高まる中、就航地を中心に欧米豪も含め観光情報の提供や誘客プロモーション、受入態勢の構築など、国際観光の一層の推進を図るため、関係団体等と連携を密にし、積極的に取り組んだ。

● 観光誘客の促進

本県の知名度やブランドイメージの向上を図るため、メディアなど各種媒体の活用や企業とのタイアップなどにより、適時で効果的な発信を行うとともに、観光客等が必要とする旬な情報を、県公式観光サイト「うどん県旅ネット」で提供するほか、SNS を活用した情報発信にも取り組んだ。

また、「瀬戸内国際芸術祭 2025」や「大阪・関西万博」を契機に、人々の往来が増える首都圏・関西圏での交通広告をはじめ、「アートのある暮らし」を提案する大手書店と連携した観光プロモーションなどを実施し、誘客促進を図った。

● 観光振興のプラットフォーム機能（観光圏、登録 DM0）の整備

「香川せとうちアート観光圏」（令和 7 年 4 月に国土交通大臣が認定）を推進するプラットフォームとして、また、登録観光地域づくり法人（登録 DM0）（令和 3 年 1 月に観光庁登録）として、令和 7 年 4 月に認定された新たな観光圏の整備実施計画の下、地域、関係団体、民間と連携のうえ、本県の強みである瀬戸内海や圏域内に点在するアート、文化資源等を活用した着地型旅行商品等の造成や夜型観光の推進、来訪者への情報発信などに取り組み、圏域内での来訪者の周遊・滞在を促進し、滞在型観光地域づくりを推進した。

● 香川の“おもてなし力”の向上

激化している観光客誘致の地域間競争に勝ち抜き、旅行先として選ばれ続けるためには、観光地の魅力向上や情報発信に加え、地域をあげて“おもてなしの心”で観光客をお迎えすることが大切であることから、観光関係者はもとより、県民の方々が地域を知り、郷土愛を醸成し、誇りを持って来訪者に接してもらえるよう、全県的なおもてなし機運を高めるとともに、観光客の利便性の向上に取り組み、国内外から訪れる多くのお客様を、「おせったいの心」で温かくお迎えするための活動を行った。

● 国際観光の推進

円安等を背景にインバウンド需要が増加しており、東京や大阪等を中心に外国人観光客が増加している。本県においても「瀬戸内国際芸術祭 2025」等をフックとして外国人観光客を取り込むため、高松空港の国際航空路線が就航する国や地域などに向けて、瀬戸内海の多島美をはじめとする本県の魅力をより一層発信するとともに、現地の旅行会社に対して本県へのツアー商品の造成を強く働きかけた。併せて、外国人観光客の満足度と利便性の向上を図るため、観光事業者への多言語対応支援を行うなど、外国人観光客が安心して、不自由なく香川の旅を満喫できるよう、さらなる受入環境の向上を図った。

Ⅱ 事業内容

(公益事業)

1 観光情報発信事業

① ウェブ観光情報提供事業

県公式観光サイト「うどん県旅ネット」において、旬できめ細かな観光・イベント情報をテーマごとに発信するなど、観光客等のニーズに合った情報を効果的に提供した。

うどん県旅ネットアクセス数(ページビュー数)15,297件/日(3月末現在)

② うどん県アート県ブランドプロモーション事業

旅行先として「選ばれる香川」になるよう、本県の認知度とブランド力の向上を図るとともに、「香川を訪れてみたい」と思ってもらえるように、テレビや雑誌、企業とのタイアップやSNSを活用した情報発信等により、本県の魅力や楽しみ方等を発信するプロモーションを戦略的に展開した。

- 首都圏及び関西圏での交通広告や、「アートのある暮らし」を提案する大手書店と連携した観光プロモーション等を実施した。
- ・ 6月23日～8月31日 デジタルサイネージ広告の掲出
「想像以上、香川」をキャッチコピーに、各観光地の魅力を表現した動画を制作し、首都圏や関西圏の駅構内においてデジタルサイネージ広告掲出
掲出場所：16箇所（首都圏：4か所140面、関西圏：11か所138面、その他：1か所30面）
 - ・ 6月23日～8月3日 SNS広告の配信
交通広告と同時期に、首都圏及び関西圏でInstagram広告及びYouTube広告配信
 - ・ 6月14日～7月13日 大手書店と連携した観光プロモーションの実施
開催場所：蔦屋書店（銀座店、梅田店）
来館者：56.8万人（2施設合計）
宿泊券プレゼントキャンペーン応募者：717人
 - パブリシティサポート活動を行い、首都圏、関西圏を中心としたテレビ、雑誌等に香川県のコンテンツの露出を図り、誘客促進に努めた。
 - ・ 旬のイベント、県産品、観光等の情報をまとめ、メディアに向けたニュースリリースを配信
 - 4月 大阪・関西万博 自治体催事「せとのかけはし号」出展
 - 9月 初開催「かがわマラソン2026」 10月6日(月)正午から一般枠エントリー受付開始
 - 10月 「あなぶきアリーナ香川プロジェクションマッピング2025 Halloween」
10月29日(水)～31日(金)に開催
 - 12月 「KAGAWA Christmas Market 2025」 12月12日(金)～25日(木)に初開催
 - 2月 「あなぶきアリーナ香川プロジェクションマッピング2026 Valentine」
2月13日(金)～15日(日)に開催
 - 3月 「特別名勝 栗林公園 春のライトアップ」開催
「ポケモンローカルActs物産展」香川県会場が高松三越で開催
 - ・ メディアへの働きかけを行い、以下の番組を誘致
 - 5月 フジテレビ系列の情報番組「めざましどうようび」にて、オリーブサーモンを紹介

- 6月 日本テレビ系列の情報番組「ZIP!」にて、県内の飲食店を紹介
- 10月 フジテレビ系列の情報番組「めざましどうようび」にて、オリーブマダイを紹介
- 3月 日本テレビ系列の旅番組「遠くへ行きたい」にて、県内の観光地等を紹介

○ 高松空港株式会社、三菱地所グループと連携し、首都圏在住者をターゲットにした誘客イベントを実施した。

- ・ 6月14日、15日 MARK IS みなとみらい（来訪者：約1,200名）
- ・ 10月4日、5日 酒々井プレミアム・アウトレット（来訪者：約800名）

○ 包括連携協定を締結したANA及びJALと連携し、観光情報の発信や販売促進キャンペーン等を行い、誘客促進を図った。

<ANA連携事業>

- ・ 首都圏の飲食店（英国風PUB「HUB」）を活用した香川県プロモーション事業
内 容：首都圏の飲食店で本県の特産品等を提供し、本県の認知度向上や興味関心を喚起し、誘客促進を図った。

実施時期：令和8年3月2日～3月31日

実施店舗：羽田第2空港店・新宿西口店・渋谷店・浜松町店・上野店

<JAL連携事業>

- ・ スカイメイト運賃（※）利用促進キャンペーン実施

（※）満12歳以上25歳以下の「JALカード会員」又はお客様情報登録済の「JALマイレージバンク（JMB）会員」を対象に、搭乗日当日の0時以降に予約できる”若年層向け当日割引運賃制度”

内 容：若年層の利用促進及び閑散期における需要獲得を目的とした、「スカイメイト運賃利用促進キャンペーン」

実施時期：令和7年11月1日～令和8年1月31日

○ （株）ポケモンとタイアップし、ヤドンをモチーフにした新しい観光資源の開発や県内のヤドンのコンテンツを生かした観光パンフレットの制作を実施するとともに、県外からの観光誘客を目的にイベントを展開した。

- ・ 4月25日～12月31日 「香川めぐり旅」スタンプラリー

有効応募総数：2,405件（うち県外1,811名・約75.3%）

- ・ 11月22日～23日 「ヤドンパラダイス in 香川2025」（瓦町FLAG・丸亀町グリーン）合計3,174名（うち県外1,977名・約62.3%）

○ SNS（フェイスブック、インスタグラム、X（旧ツイッター））で、本県特有のさまざまな魅力を具体的にイメージできるよう、旅行者目線で構成した印象的な文章と写真や動画で週3回程度情報発信することで、認知度や来訪意欲の向上を図り誘客促進に努めた。

- ・ 令和7年度の総投稿数は、インスタグラム 171 本、フェイスブック 171 本、X 169 本

<フォロワー数>

（単位：人）

	フェイスブック	インスタグラム	X（旧ツイッター）
R4.3.31	5,349	28,085	12,456
R5.3.31	5,711	30,167	15,452
R6.3.31	5,891	34,735	16,738
R7.3.31	6,260	41,601	19,132
R8.3.31	7,571	50,167	20,954

- 若者に SNS 上で大きな影響力を持つインフルエンサーを活用し、本県の魅力を発信することにより誘客促進に努めた。

旅行系及びグルメ系のインフルエンサーを起用。各自で本県の魅力を取材後それぞれの SNS に投稿。

- ・ トンちゃん：県内のうどん店 5 店紹介 Instagram 閲覧数 1, 821, 518 回

- ・ ひとみん：県内の夜うどん店 3 店紹介

閲覧数 Instagram10, 995 回 Tiktok40, 359 回, YouTube 23, 000 回

小豆島観光スポット紹介

閲覧数 Instagram14, 135 回 Tiktok9, 346 回, YouTube 6, 037 回

- ・ 全国旅行プラン：10 月末にプロジェクションマッピング等県内各地を取材
2 月 12 日プロジェクションマッピング直前に公開

閲覧数 15, 583 回

- 県民とともに本県のイメージアップにつながる情報を SNS で発信することで閲覧者の来県意欲を高め、誘客促進に努めた。

- ・ 香川大学の学生と連携し、まんのう町のおすすめスポットを 7、9 月に取材し学生が記事を作成。11 月 26 日、27 日にうどん県 Instagram にて 4 本の記事を公開。総閲覧数 97,872

- ◇おしゃれピクニックリール投稿 (11/26 投稿) 閲覧数 35,023

- ◇おしゃれピクニックフィード投稿 (11/26 投稿) 閲覧数 25,671

- ◇家族向け体験リール投稿 (11/27 投稿) 閲覧数 9,718

- ◇家族向け体験フィード投稿 (11/27 投稿) 閲覧数 27,460

- ・ 地域おこし協力隊と連携し、さぬきフラワーガーデンやその周辺のおすすめスポットを取材し、3 月 30 日にうどん県 Instagram にて公開。閲覧数 15,634。

③ 魅力発見ハッシュタグキャンペーン事業

旅行者や県民等に県内の魅力や感動を SNS に投稿してもらうキャンペーンを実施することで、全国に向けた情報発信を行った。

実施時期 第 1 期：5 月 1 日～8 月 31 日 (投稿数：4,360)

第 2 期：9 月 1 日～12 月 31 日 (投稿数：約 5,000)

④ 香川フィルムコミッション事業

県内の施設や観光情報、特産品など、様々な情報を提供することにより、映画、テレビ、コマーシャルなどのロケ撮影を誘致するとともに、ロケ地の紹介、エキストラやボランティアの募集など、撮影の円滑な実施のために必要な支援を行った。

⑤ 全国観光圏推進協議会「Undiscovered Japan」情報発信事業

全国 11 観光圏と連携し、商談会への参加、「Undiscovered Japan」のウェブサイトや SNS の運用などにより情報発信を行った。

⑥ 刊行物発行事業

香川県観光マップ「香川たび」など香川の観光パンフレットを作成し、県内外の観光客に広く配布することにより、香川県の観光 PR を行った。

2 観光客誘致事業

(1) 国際観光推進事業

① 海外からの観光客誘致事業

高松空港の国際航空路線の就航先であるソウル、上海（本年１月から運休中）、台湾、香港を中心に、また、本年３月末から期間運航を開始した釜山も含め、誘客活動を行うとともに、将来の定期便化を見据えてタイ・ベトナムなど東南アジア地域からのチャーター便誘致に取り組んだ。各市場の最新の動向やニーズ等に応じて、SNS などを活用した効果的な情報発信等を行うほか、各市場の旅行会社等へのセールス活動や瀬戸内国際芸術祭 2025 の PR などを行い、インバウンド需要の拡大に向けた取組みを行った。主な活動は以下のとおり。

(i) 韓 国

- 香川県観光協会公式 SNS（インスタグラム）やブログ、インフルエンサー等を活用した情報発信
- 現地の観光博覧会等での観光 PR
- オンライン旅行会社と連携した旅行記事の情報発信
- 新商品開発のための旅行会社の招請等

(ii) 中 国

- 香川県観光協会公式 SNS（微博、微信及び小紅書）やインフルエンサー等を活用した情報発信
- 春秋旅行社と連携した旅行商品の造成
- 瀬戸内国際芸術祭 2025PR セミナー等の開催や上海旅游節花車パレードへの出展
- 上海エリア以外の都市からの誘客促進事業等

(iii) 台 湾

- 香川県観光協会公式 SNS（フェイスブック、インスタグラム）やインフルエンサー等を活用した情報発信
- 現地の旅行博等への出展や瀬戸内国際芸術祭 2025PR セミナーの開催
- 航空会社と連携した販売促進プロモーション
- 県内観光事業者と現地旅行会社との商談会開催等

(iv) 香 港

- 香川県観光協会公式 SNS（フェイスブック、インスタグラム及び小紅書）や香港エクスプレス公式 SNS 等を活用した情報発信
- 香港や香港周辺エリアでの観光 PR や瀬戸内国際芸術祭 2025PR セミナーの開催
- Google 等でのオンライン広告の配信

(v) タイ及びベトナム

- 香川県観光協会公式 SNS（フェイスブック）での情報発信
- 旅行商品造成のための旅行会社の招請
- 現地旅行博等での観光 PR 等

(vi) 欧米豪

- 航空会社との連携による香川県の観光情報発信
- ⑨ ○ フランスの旅行会社を招聘したインセンティブツアー（企業の報奨旅行）のモデルコースの造成
 - ・ フランスでの観光セミナー開催（６月 19 日）

参加者：現地企業の福利厚生旅行担当者、旅行会社など関係者 24 名
・香川でのファムツアー実施（1 月 21 日～24 日）

参加者：フランス現地旅行会社等 4 名

○ 東京観光財団と連携した誘客プロモーションの実施

② 外国人観光客誘致対策補助事業

外国人観光客を本県へ誘致するとともに、県内宿泊・観光施設の利用促進を図るため、高松空港の国際航空路線を利用し、県内で 1 泊以上宿泊するツアーなどを実施した海外旅行会社等に対する助成等を行った。

③ プラントベースメニュー推進事業

香川県を訪れる観光客の多様な食のニーズに対応し、観光地としての魅力を高めるため設置した「観光かがわ食の多様性に向けた協議会」により、セミナーを開催した。

・セミナーの開催 実施日：10 月 14 日、参加者：42 名

(2) 観光客誘致促進事業

① 周遊型・体験型旅行商品造成事業

観光地や伝統的町並み、現代アートをはじめとする芸術・文化や、産業など、本県の豊かな地域資源を生かした周遊型・体験型の旅行商品や、地域の特徴的な地形と食文化の成り立ちなどの魅力を生かした旅行商品の造成に向けて取り組むことにより、県内での滞在時間及び旅行消費額の拡大を図った。

② 国内航空路線活用誘客事業

首都圏東部エリア等をターゲットとし、ジェットスターのホームページやインスタグラム等 SNS を活用した情報発信など、成田－高松線を活用した本県への誘客を図る観光プロモーションを実施した。

③ クルーズ客船誘致事業

国内外のクルーズ客船を高松港に誘致するため、クルーズ船社等の高松港や周辺観光地の視察の招請（5 回）、クルーズ船社や旅行エージェント等への誘致訪問（延べ 61 社）、クルーズ船社等との商談会への参加（3 回）などに取り組んだ。

④ サイクリング誘客促進事業

国内外からのサイクリストの誘致を図るため、サイクリングマップの配布などにより情報発信を行うとともに、サイクルオアシス（休憩ポイント）の整備に対する支援を行った。

⑤ 旅行商品誘客促進事業

県内に 1 泊以上宿泊する団体バスツアーを催行する旅行会社・バス会社に助成を行い、本県への誘客を図り、旅館・ホテルの利用を促進した。

・補助金交付決定件数：77 件

⑥ マザーポートイベント事業

観光客の滞在時間と観光消費額の拡大を図るため、県内の島々を結ぶマザーポートの 1 つである高松港で実施する、夜型の交流イベント（真夏の夜の夢 2025）への支援を行った。

開催日：8 月 2 日～10 日（9 日間）、参加人数：延べ約 6 万 4 千人

⑦ 新たな旅行需要開拓事業

瀬戸内海、アート、遍路等のコンテンツを生かした旅行商品の造成やプロモーション活動により新たな市場開拓に取り組んだ。

○ 札幌や仙台など国内航空路線誘致に向けた市場開拓

旅行会社への商品造成・広告支援、高松空港と連携したプロモーションの実施等

・ 仙台・新千歳発着のチャーター便利用に対する助成

補助金交付決定件数：4件

○ 富裕層の誘客促進

富裕層を対象とした商品を造成・販売している旅行会社への営業活動

・ 首都圏・関西圏を中心に商談会や個別訪問による営業活動の実施等

四国ツーリズム創造機構主催の観光商談会（東京：10月6日・

大阪：10月16日）等でのPR

⑧ 「万博後も香川へ！」誘客促進事業

OTAとの連携による観光プロモーションや、大手旅行会社との連携による周遊・滞在型の商品造成・流通支援を行った。

○ OTAとの連携

・ OTAのサイト上に香川県の周遊モデルコースを紹介するとともに、タクシー会社と造成した周遊プランなどを掲載し、販売を促進

<造成したタクシー周遊プラン>

No	エリア	プラン名	主なルート	販売実績(人)
1	高松 エリア	時間フリー	市内ホテル発着 時間フリープラン	0
2		歴史文化	讃州井筒屋敷、ばいこう堂、平賀源内記念館等	0
3		初めて高松	玉藻公園、栗林公園、屋島等	0
4		アート	香川県庁東館、香川県立ミュージアム等	0
5		グルメ	さぬきうどん店2か所、骨付鳥店等	0
6	中讃 エリア	時間フリー	ホテル発着 時間フリープラン	1
7		観光	総本山善通寺、丸亀城等	0
8		アート	香川県立東山魁夷せとうち美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館等	0
9		グルメ	さぬきうどん店2か所、骨付鳥店等	0
10	西讃 エリア	時間フリー	ホテル発着 時間フリープラン	0
11		グルメ	さぬきうどん店2か所	0
12		ルート①-1	JR 詫間駅→父母ヶ浜	87
13		ルート①-2	父母ヶ浜→JR 詫間駅	114
14		ルート②-1	高屋神社→父母ヶ浜	79
15		ルート②-2	父母ヶ浜→高屋神社	10
16		ルート③-1	父母ヶ浜→紫雲出山	45
17		ルート③-2	紫雲出山→父母ヶ浜	44
18		ルート④-1	JR 観音寺駅→高屋神社	176
19		ルート④-2	高屋神社→JR 観音寺駅	64
20		ルート⑤-1	JR 観音寺駅→父母ヶ浜	4
21		ルート⑤-2	父母ヶ浜→ JR 観音寺駅	12
計				636

<体験コンテンツ>

No	エリア	体験内容	販売実績(人)
1	高松市	朝のおつとめ体験	6
2	東かがわ市	弓道体験	10
3	高松市	いちご大福づくり体験	90
4		フルーツ大福づくり体験	75
5	三木町	レンタルキッチンでBBQ 体験	0
計			181

- ・瀬戸内国際芸術祭 2025 の開催期間外や、万博開催後の冬場の閑散期における県内誘客促進のため、宿泊料割引クーポンを配布

<宿泊料割引クーポン配付>

◇宿泊対象期間：6月1日～7月31日 利用枚数 625 枚 2,141 人泊

◇宿泊対象期間：11月15日～12月25日 利用枚数 240 枚 769 人泊

◇宿泊対象期間：1月6日～2月15日 利用枚数 300 枚 1,003 人泊

○ 大手旅行会社との連携

- ・より多くの本県への周遊・滞在型旅行商品の造成・販売が行われるよう、旅行会社への営業活動や支援によりモニターツアーの造成・販売を促進
<造成したモニターツアー>

◇旅行会社：13 社

◇宿泊：10 コース 33 本

◇日帰り：27 コース 95 本

◇参加者：1,521 名

◇モニターツアーに盛り込んだ観光コンテンツ

うどん打ち・和三盆型抜き・四国水族館バックヤードツアー体験等

- ・県公式観光サイト「うどん県旅ネット」に特設サイトを開設するとともに、SNS等での広報活動により、特設サイトへの誘導を図り、商品の販売を促進

⑨ 他県連携事業

兵庫県等と連携し、本県を周遊する旅行商品を造成するとともに情報発信等を行い販売を推進した。

また、高付加価値旅行を取り扱う旅行会社に働きかけ、昨年造成した「金刀比羅宮の重要文化財の特別案内」や「香川漆芸の人間国宝によるトークサロン」などのコンテンツを組み込んだツアーの造成・販売の促進に取り組むとともに、新たな「高付加価値旅行社向けコンテンツ」を造成した。

<造成した両県周遊旅行商品>

No	ツアー名	主な 県内訪問先	催行日	催行 実績
1	瀬戸内の魅力 伝統受け継ぐ人々と美しき自然と食の恵み4日間	笠島、瀬戸内海歴史民俗資料館、屋島、平賀源内記念館、讃州井筒屋敷等	10/28 発 11/18 発	20 名
2	瀬戸内が育んだ伝統文化とものづくり4日間	栗林公園、讃岐漆芸美術館、讃岐のり染工房等	10/8 発	5 名
3	ローカルガストロノミーと日本の美しきカントリーサイド5日	多度津、善通寺、金刀比羅宮、屋島、四国村ミュージアム等	10/21 発	8 名

	間			
4	知られざる名建築とアートの世界5日間	流政之美術館、瀬戸内海歴史民俗資料館、県庁東館、あなぶきアリーナ香川、ベネッセハウス、地中美術館	11/19 発	8 名
5	国生みの島淡路島から小豆島へ瀬戸内の島々を巡る旅5日間	讃州井筒屋敷、香川のでぶくろ資料館、大阪城残石記念公園、オリーブ公園、中山農村歌舞伎舞台等	2/22 発	29 名

＜高付加価値旅行社向けコンテンツを組み込んだツアー＞

◇旅行会社 : 3社(5コース、9本)

◇コンテンツ: 金刀比羅宮の奥書院特別拝観・白書院ランチ、香川漆芸の人間国宝によるトークサロン・御本宮格天井見学など

◇参加者 : 108名

＜令和7年度に新たに造成した高付加価値観光コンテンツ＞

・瀬戸内の風土が育む調味料(砂糖・塩・酢・醤油・味噌・オリーブ)の産地をめぐり、瀬戸内の旬を各調味料で味わうプライベートガストロノミー

⑩ 栗林公園薪能開催事業

特別名勝栗林公園の魅力やブランド力の向上を図るとともに、国内外からの観光誘客につなげるため、野外仮設舞台を設け、歴代藩主がたしなんだ「能」の舞台公演(薪能)を10月10日に開催した。

・鑑賞者数: 約570人

⑪ 瀬戸内クルーズ事業

多島美を誇る瀬戸内海に面したウォーターフロントの優位性を生かし、高松港発着遊覧クルーズ等を造成・販売した。また、富裕層向けクルーズの造成に向けた旅行会社招請を行った。

○瀬戸内遊覧クルーズの運航

運航日: 10月3日、4日、5日

内 容: 各日、デイクルーズ、サンセットクルーズを各1回運航

航 路: (デイクルーズ) 男木島・女木島周辺を周遊

(サンセットクルーズ) 五色台沖の大槌島・小槌島周辺を周遊

参加者: 1,543名

○富裕層向けクルーズの造成に向けたファミツアーの実施

実施時期 : 7月～2月、実施回数: 4回

主な視察先: 高松、三豊、観音寺、小豆島、直島等

⑫ アートを巡るツアー事業

県内の美術館や名建築を巡る高松港発着のバスツアーを造成・販売するとともに、個人旅行者向けにタクシーツアーを販売した。また、富裕層を対象とした商品を造成販売している旅行会社を招請するファミツアーを実施した。

○バスツアーの実施

催行回数：計5回（東ルート3回、西ルート2回）

実施時期：（東ルート）10月30日、11月8日、11月13日

（西ルート）11月2日、11月9日

訪問施設：（東ルート）県庁東館、イサム・ノグチ庭園美術館、

ジョージナカシマ記念館

（西ルート）県庁東館、文化会館、猪熊弦一郎現代美術館、

東山魁夷せとうち美術館、瀬戸内海歴史民俗資料館

参加者数：72名

○タクシーツアーの実施

11月下旬から販売を開始するとともに、モニターツアー・ファムツアーを計7回実施した。

訪問施設：香川県庁東館、瀬戸内海歴史民俗資料館、猪熊弦一郎現代美術館、東山魁夷せとうち美術館等

○富裕層向けアートツアーの造成に向けたファムツアーの実施

実施時期：令和7年10月9日～10日

参加者：関東圏等のメディア9社10名（雑誌・ウェブ等）

主な視察先：高松、丸亀、坂出

（3）日本観光振興協会拠出事業

日本観光振興協会が実施する広域観光振興事業に対し、事業費負担を行った。

3 受入態勢整備事業

（1）栗林公園管理支援事業

香川の貴重な文化遺産であり、主要な観光施設でもある栗林公園において、同園の保存・利用促進を目的として、県からの委託による造園管理補助や来園者対応等を行った。

（2）外国人観光客受入整備事業

① 外国人観光客受入拠点事業

国内外の観光客が安心して快適に県内を観光できるよう、日本政府観光局（JNT0）の外国人観光案内所認定制度におけるカテゴリー3の認定を受けている観光案内所をJR高松駅に直結する駅ビル内で運営し、旅行者目線に立った受入環境の充実強化を図った。

② 外国人観光客受入環境向上事業

県内の観光施設・宿泊施設・飲食店等への多言語通訳・翻訳サービス支援を行うほか、観光事業者や通訳ガイドを対象としたインバウンド対応研修や外国人観光客向け文化財等周遊促進のためのウェブサイト（スタンプラリー機能付）の運営などを行い、言葉の壁や情報収集の不自由さを感じることなく、快適に旅行を満喫できる受入環境の向上を図った。

③ 宿泊施設DX推進事業

宿泊施設におけるDXを推進するため、省力化・効率化につながる設備の導入経費の一部を国の補助制度に上乗せして支援を行った。

・補助実績：5事業者6施設

(3) 観光香川おもてなし運動推進事業

国内外から本県を訪れる観光客の満足度向上を図るため、県やわがかがわ観光推進協議会などと連携し、県民向けの講座「さぬきアカデミー」や観光従事者等向けの「おもてなし研修会」の開催、「香川おもてなしタクシー」の認定、県内各地域で活動する観光ガイドを対象とした「地域観光ガイド育成研修」の開催等、全県的な「観光香川おもてなし運動」を展開した。

・さぬきアカデミーの開催（全8回）

実施日：10月1、8、25、29日、11月5、15、19日、12月13日

参加者延べ：340名

・地域観光ガイド育成研修の開催

開催日：11月10日、参加者：2名

・おもてなし研修会の開催（全4回）

実施日：2月24日、27日、3月2日、9日

参加者：61名

(4) 人材育成・調査等事業

① マーケティング調査（観光実態調査）事業

本県を訪れた観光客の実態調査（旅行目的、訪問回数、消費金額、満足度、再来訪意向等）を11月16日、23日及び12月7日に実施した。

② 全国観光圏マーケティング調査事業

全国11の観光圏が共同で、多言語の調査票を用いて、属性、消費金額、満足度等の調査を実施した。

③ 観光地域づくりプラットフォーム人材育成事業

行政や観光協会、民間事業者などが、観光圏戦略会議やワーキンググループなどで議論を深めることにより、観光圏の整備を担う人材育成等を行った。

④ 全国観光圏推進協議会事業

全国11の観光圏で構成する「全国観光圏推進協議会」に参画し、情報共有や観光圏の質の向上を図っており、協議会に4回（5月9日、7月7日、11月10日、3月9日）出席した。

(5) 観光客の利便性・満足度向上事業

① 観光パスポート発行事業

周遊型観光ツールとしての観光パスポート「うどん県おもてなしパスポート」を作成・配布した。

② 観光品質認証制度推進事業

平成 29 年度から導入している宿泊施設などの観光サービスの品質を第三者が評価し認証する制度「SAKURA QUALITY」を推進している。今年度は、更新時期となる 3 施設について調査を実施した。

③ 県内観光案内所機能向上事業

県内の観光案内所の職員を対象に、県内外の観光地等を学ぶ研修会を、2 月 5 日に開催し、32 名が参加した。

④ 観光施設等のトイレ洋式化事業

観光施設及び空港、港、鉄道駅、バスターミナル等のトイレを洋式化する施設管理者等に対し、その費用の一部助成を行った。

・補助実績：高松琴平電気鉄道の林道駅など 4 施設

（6）四国 4 県観光協会連合事業

四国内交流促進のため、様々な機会を捉え、情報共有等を図った。

（収益事業）旅行業

県内を周遊・滞在する着地型旅行商品や体験プログラムを「うどん県旅ネット」で紹介し、圏域内での滞在時間の拡大を図った。

○ 旅行業の登録について

- ・登録番号 香川県知事登録旅行業 2-250 号
- ・種 別 第 2 種旅行業務
- ・登録年月日 平成 30 年 3 月 13 日 （令和 5 年 3 月 13 日更新）

（法人会計）組織活動事業

- （1）通常総会その他の諸会議の開催
- （2）観光関係団体との連絡会議などの開催
- （3）関係団体の実施する各種行事の後援・協賛
- （4）会員拡大による運営基盤強化

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。